

府中市庁舎建設基本計画
職員検討会報告書

平成 25 年 12 月



目次

はじめに	1
1. 個性が光る新庁舎を実現するために	2
1.1. 日常的に人が集まり利用される施設とするためには	2
1.2. 庁舎機能：「市民活動」における市民と行政との関係をより良くするための役割	3
1.3. 庁舎機能：ユニバーサルデザイン	4
1.4. 庁舎機能：防災拠点、災害対策機能	5
1.5. 庁舎機能：窓口計画	6
1.6. 庁舎機能：執務環境	7
1.7. 庁舎機能：福利厚生施設	8
1.8. 庁舎機能：議場	9
1.9. 庁舎機能：セキュリティ	10
1.10. 庁舎機能：運用	11
2. 優れた新庁舎の実現を目指して	13
2.1. 職員の意識	13
2.2. 職員の働きやすい職場環境	13
2.3. 課の意見集約	13
2.4. 周辺施設との役割分担	14
2.5. 情報発信・PRコーナー	14
2.6. 周辺環境との調和	14
2.7. その他	15
参考資料	16
資料1 職員検討会による検討経緯	16
資料2 府中市庁舎建設基本計画職員検討会委員	18

はじめに

府中市庁舎建設基本計画職員検討会（以下、職員検討会といいます。）は、府中市の職員35名で構成され、新庁舎に必要な機能や改善点など庁舎建設に関する報告を市長に行うため、計8回にわたり議論を重ねてきました。

職員検討会においては、テーマに沿って職員の目線から市庁舎の機能を考えるだけでなく、市民検討協議会で出された意見に対するディスカッションも行うことで市民と行政の「協働」という観点からも、意義ある議論がなされました。

今後もこうした市民と行政との「協働」により、将来を見据えた府中のあるべき姿として、歴史・伝統・文化を背景に、水と緑の豊かな環境の中で、世代を超えた市民が笑顔で暮らせるまちづくりを進めるために重要な役割を果たす新庁舎の実現に向けて、着実に進められるよう、職員検討会での意見が有効に活用されることを望みます。

平成25年12月

府中市庁舎建設基本計画職員検討会委員一同



1. 個性が光る新庁舎を実現するために

1.1. 日常的に人が集まり利用される施設とするためには

市民活動が活発であることは、府中の特徴の一つとして挙げられます。新庁舎が担う役割としては、市と市民や自治体相互の関係を良くする場の提供も考えられます。

(1) 府中市内で行われている「行事」で、新庁舎において積極的に行うと良いと思うもの

祭り・イベント	JAZZ in FUCHU
	ラグビーやサッカー、競馬などのパブリックビューイング
	くらやみ祭、商工まつり、福祉まつり、環境まつり、農業まつり、NPOボランティアまつり、市民芸術文化祭、敬老の日記念大会、どんど焼き
式典	東京競馬場の花火観覧 消防団の出初式、市民表彰式、表敬訪問
交流スペース	青少年の交流の場
	スポーツ子ども教室
	遺跡発掘体験エリア
	市民向け交通安全教室 屋上を活用した農業体験
飲食・物販	カフェ、福祉カフェ
	コンビニ
	地元企業と協働して行う屋上でのビアガーデン
	フリーマーケット、朝市、農作物直売所 福祉作業所等で作られた家具などの使用
情報発信	児童虐待予防の啓発、納税キャンペーン
	福祉啓発スペース、市政PRスペース、市民活動の告知宣伝スペース 市民文化団体の作品展、選挙啓発ポスターコンクール

(2) 市民検討協議会で出た意見に対する職員の意見

市民意見	職員意見
地元企業との協働の場、 産官学の活動の拠点、 新しい産業や企業を創生するディス カッションの場	市民の健康を考える産官学連携 例) サントリー: ノンアルコール飲料の提供 大学: 新入生歓迎コンパでサントリーをPR 市: 急性アルコール中毒を減らす啓発
	災害時にサントリーが水の提供を行う
	くらやみ祭、商工まつり、福祉まつり、環境まつり、農業まつり、NPOボランティアまつり、 市民芸術文化祭、敬老の日記念大会
	東京外国語大学やNPOを活用し、市内の外国人が地域や生活に溶け込めるような場を設ける
	東京農工大学や農業高校産の野菜直売所、市民農園の支援、ペットの健康相談、災害時の ペット保護や救護の実施 地元企業の就職セミナー
自治会問題を相談できる場の提供	自治会連合会のためのスペース
	マンションの管理組合関係者を集めた交流の機会を設ける
	市民相談の拡充 自治会同士であれば、近隣の文化センターを利用すべき
行政も観光に力を入れて欲しい	観光マップの販売、観光ルートの策定
	ふるさと府中歴史館を新庁舎に組み込み、歴史のまち府中をPR
	ポスター展示
	府中マラソンを更に大きく発展させ開催 姉妹都市の佐久穂町の特産物直売
	ドラマや映画の撮影場所として使ってもらえる庁舎に 建物自体が観光資源となるような庁舎に
若者に市役所の存在をアピール	自由に使える休憩スペース・カフェなど、居心地の良い空間 街コンや婚活の場を提供

(3) 各部署において、今後更なる取組が必要だと思われる「市民活動」「市民協働」

啓発活動	子育て支援活動
	選挙啓発活動(明るい選挙推進委員など)
	環境啓発活動(水辺の楽校、美化清掃、クール・エコなど)
	コミュニティビジネス
	コミュニティカフェ
	就職活動セミナー
	手話、点字などの講習
	地域まちづくりのワークショップ(まちづくり整備方針の見直し、策定など)
	防災訓練
	防犯グッズ利用の促進、地域防犯活動
活動発表	伝統芸能の発表(囃子、太鼓、民謡など)
	自衛消防などの定期PRや活動報告
地元物産の 販売	東京農工大学などで栽培した府中産野菜を使った飲食店
	F級グルメ飲食店
	農産物などの直売
	一時的なテナントスペースの設置
その他	公共Wi-Fiの導入
	税の作文コンクール(中学生を対象)

1.2. 庁舎機能：「市民活動」における市民と行政との関係をより良くするための役割

1.1(1)~(3)の事柄について、新庁舎において実現し、市民活動における市民と行政の関係をより良くするために、必要となる機能について議論を行いました。

市民と行政との関係をより良くするための役割	気軽に使える開かれた打合せスペース
	個別相談しやすい窓口
	市民活動PRの支援
	各市の広報、祭りの情報コーナーを市民の利用率の高い場所に設置する
	駅前再開発の市民活動拠点との役割のすみ分け

1.3. 庁舎機能：ユニバーサルデザイン

人種、性別、年齢、身体的特徴などに関わらず、多くの人の利用が可能となる考えのもと、製品、建物、空間がデザインされることをユニバーサルデザインといいます。

新庁舎建設に当たっては、日常的に人が集まり利用される施設とすることを目標としており、そのためには、誰にとっても使いやすい施設とすることが必要であると考えます。

交通	階段・通路等	職員専用の動線やバックヤードの確保 障害物のない共用部分 階段や通路などのスペースを広く取り、明るくする 階段の上り下りが少ない庁舎 駐車場・駐輪場からの動線も含めたバリアフリー 駐車場(特に優先車両)の増設
	エレベーター等	台数を増やす 職員用エレベーターを設置する ボタンは低位置とする ストレッチャーを乗せられる広さにする 市民が多く利用する階(低層階)にエスカレーターを設置する 車椅子、ベビーカーが利用可能なエスカレーターを設置する
情報	サイン・案内	庁舎案内図の位置 行き先の課や係を番号で表示、案内 課表示ではなく、手続表示にしてみてもどうか 来庁者の多い課については番号札の設置 外国語、点字表記のサイン 車椅子の人の視点に合わせたサインの表示 配置の案内を柔軟にできる設備 インターネットなどが使えない人でも、情報入手に困らない運用が必要
もの	窓口・課配置	来庁者が多い部署を低層階に配置 市民対応のある課、手続が関連する課をワンフロアに集約 待合スペースを十分用意し、プライバシーに配慮する 休憩用のベンチスペースの増設 1階ロビーなどのスペースは、なるべく壁で仕切らない カウンターの角をなくす 椅子、カウンターの高さ(肘掛けの有無など) ハイカウンターとローカウンターの使い分け基準の作成
	トイレ	昼食時の歯磨きなどにも使えるトイレ パウダーコーナーの設置 各階にだれでもトイレを設置 子供が座れる便座 1Fにストレッチャーの方が利用出来るトイレを設置
	授乳室・キッズコーナー	キッズコーナーの設置 授乳室を明るく清潔にし、数を増やす 子育て関連部署など、子供連れの市民が多いフロアに設置する 男性でも利用可能な赤ちゃんスペースを設置
	その他	エアコンの個別設定 明るく開放感のある庁舎 災害時に避難しやすい構造 エントランスでベビーカーやキャリーカートの貸出しをする

1.4. 庁舎機能：防災拠点、災害対策機能

市民に対して正確な情報を迅速に発信することに加えて、災害時においても市庁舎としての機能継続ができるよう計画を立てることが必要と考えます。

新庁舎において検討・改善すべきこと

避難経路	避難しやすい経路の確保(各階にベランダを用意し、災害時の避難に備えるなど)
	複数の避難路を確保
	建物内にも、一時的に避難のできる場所があると良い(エレベーターホールなど)
	広い避難スペースが必要
	初めて来た人、子供にも分かる避難経路の表示
避難訓練	避難訓練を繰り返し行うべきと感じた
	職員避難訓練ではなく、市民も参加した来庁者の誘導訓練を実施すべき(役割分担の明確化)
災害情報	災害速報が確認できるよう、庁舎内にテレビが必要
	災害情報が一目で分かる掲示板を各階に設置
設備関係	非常用電源を長時間対応にする ・市内大企業等の屋上などに設置協力要請 ・パソコンが使用できないと業務継続できないため、電源・システムダウンを防ぐ
	貯水槽や非常用発電機の設置
	防災対応便所や災害時のための便槽(地下ピット)の設置
	消火設備の充実
	停電時でも流せるトイレ
	雨水の再利用
受入・備蓄スペース	防災グッズを課ごとに管理できる収納場所があると良い
	備蓄品管理システム(在庫や賞味期限など)の整備
	カウンター下に来庁者用のヘルメットを備蓄
	受入物資の保管場所 帰宅困難者・移動の難しい避難者の受入スペース
その他	停電に備え、階段など奥まった場所にも自然光が届く設計
	防災課と本庁は同じ拠点とし、災害対策本部は本庁舎で開催
	災害時に自転車無料貸出し
	災害対策本部との連携手段の確保 市金庫、出納課金庫のセキュリティを改善

1.5. 庁舎機能：窓口計画

(1) 現在の窓口形態における課題、改善すべき点

各課の配置	関係する課が別フロアに分かれている 各課に様々な業務が分かれ、手続の際にたらい回しになる
案内関係	コンシェルジュサービスが必要 総合窓口でできる手続きが分かりにくい 総合案内とフロア案内の連携が取れていない
窓口スペース	窓口に対して背中を向けた座席配置となっている 窓口数が不足している
窓口位置が不明瞭	庁舎内の平面構成が複雑で案内表示が不十分なため、目的の窓口にとどり着けない 部課名が頻繁に変更され、そのたびに窓口の場所が分からなくなる
カウンター	仕切りがない、席の間隔が狭い、カウンターと待合席との距離が近いなど、プライバシーに配慮されていない 個別相談室を各課に最低一つは設置して欲しい ハイカウンターとローカウンターの数のバランスが悪い
待合スペース	待合スペースが狭く、席数が足りていない 高齢者、車椅子、障がい者の利用に対応していない
その他	キッズコーナーの設置 待ち時間を有効に過ごす方法がない

(2) 手続が分かりやすい窓口にするために必要なこと

各課配置	転入・出生など、手続の多い人がスムーズに移動できるフロア配置 関連する課をワンフロアに集約
案内	課名ではなく、手続内容を表示する 表示の仕方を工夫する ・番号や記号、色で分かりやすく ・大きなフロア案内図を設置 ・混雑状況を電子掲示板で表示 ・外国語、手話対応ができる窓口を表示 図書館の蔵書検索のような手続検索システムの導入
手続	手続、組織の簡素化 手続に時間が掛からない窓口をまとめる 目的のはっきりしない問合せにも対応できる窓口の設置 窓口対応件数の多い課に発券機を設置 発券機を複数課で利用できるとよい 課ごとに作成している手続に関する案内マニュアルを庁内で統一する 窓口で市民が来たことを気付きやすい仕組みにする 専門的な知識を持った人の育成 手続の流れに沿った位置に記載台を設置
待合	来庁者数に応じて、待合スペースを十分確保 情報発信(ニュースやイベントの模様など) 大型ディスプレイによる番号呼出し 発券ではなく席に番号を付けて、席の順番に案内してはどうか 離席しても手続完了が分かるようポケベルを配る
相談	プライバシーに配慮したパーテーションの設置 相談室の設置 相談室が個室の場合は出入口を2か所設ける

1.6. 庁舎機能：執務環境

(1) 執務環境について

執務環境が向上することにより、対応時間の短縮や分かりやすさなど、市民サービスの向上につながると考えます。現状の問題とともに、今後必要な取組について検討を行いました。

執務環境	現在は自然光が入らず暗い。また、西日が強いので、新庁舎では直射日光が当たらない方法の工夫が欲しい
	キャビネットの高さが高く、自然光が遮られて暗い
	執務室が狭い
	夏暑く冬寒いことに加えて、空調の個別管理ができない
	各フロアごと(執務スペースごと)に空調の温度調整ができると良い
	効率のよい空調計画(個別制御、建物構造)
	タスク照明が良い
什器備品レイアウト等	収納キャビネットが不足している
	人から見えにくいところほど、書類が積まれている
	図面を置く場所がなく、工事用書類がかさばる
	カウンター付近に書類を置いているため、市民対応中に他の職員がうろついてしまう
	書類が多い
	書類が分散して保存されていて探しづらい
	カウンターと机が近い
	課内にコピー機がない
	書類の電子データ化(PDFなど)
	執務室利用のルール(書類整理やレイアウト)が必要
	各フロアに書庫的なスペース
	壁、キャビネットの色味を統一させる
スライドキャビネットがあるのが便利	
異動のたびに荷物の入れ替えをしないように、統一サイズの個人キャビネットを採用する	
各課に傘立てが欲しい	
会議室	会議室が少なく予約が取りにくい(システムの改善が必要)
	施錠された部屋での作業(発送作業など)に会議室を利用せざるを得ない
	フレキシブルに使える小会議室(発送作業などに使用できる施錠可能な部屋)が各フロアにあれば良い
	会議室の他にプロジェクターやスクリーンなどがある研修室が欲しい
更衣室・休憩室	更衣室のロッカーが狭い
	休憩室は職員と市民が別の方が良い
	更衣室に手洗いがあれば良い
セキュリティ	窓口と執務室の距離を離して欲しい(個人情報を知られてしまう)
	市民から見て執務室内の見通しが良すぎる。常に市民の目にさらされている
	職員のプライバシー及び書類等が見えない空間
	執務室の入口の境目が分かりづらく、市民が入ってくることもある
	業務用のエレベーターがあると良い
防犯対策として、エレベーター扉にガラス窓を付けて欲しい	
現金輸送経路の確保	
その他	本庁舎、第2庁舎の分散化
	パソコンや電話の配線が乱雑
	電子決裁化
	事務室はオープンでなければいけないが、東京都庁のような閉ざされた事務室も必要
	職員呼出し用ベルの設置
	職員専用の出入口
	避難経路(二方向、内と外)
	カウンター並びの出入口扉に工夫が欲しい
	土曜開庁を意識した職場配置
無線LAN	

(2) 課相互のコミュニケーションを促進するための今後の取組

関連課の集約	関連性が高い課を集約し、できれば同じフロアに配置する
動線・視界	キャビネットなどの高さを制限する
	見通しの良いフロアレイアウト(ただし手元は見えない)
	カウンターの内側(執務室側)を自由に通行できるように動線を整備(他の課へ入りやすいように)
	見通しが良い配置計画
	部署ごとに仕切りのないフロアレイアウト
	関連性の深い課をワンフロアに集約し、上下移動を減らす
打合せスペース	エスカレーターを設置
	各フロアに会議室を設ける
	少人数で打合せができるスペースを作る
休憩スペース	気軽に打合せができるような立ち話スペースの設置
	職員専用の休憩スペース
	喫煙所は各フロアに設置して欲しい
	フロアごとに休憩スペースや自動販売機などが設置されている共有スペースを作る

1.7. 庁舎機能：福利厚生施設

(1) 福利厚生施設における現状の課題と新庁舎での要望について

休憩	市民の目を気にすることなく昼食を取れる場所が欲しい
	屋上へ自由に出入りでき、弁当が食べられるようにする(屋上緑化を行い、居心地の良い空間とする)
	体を動かせるスペースが欲しい
	仮眠がとれるスペースが欲しい
	自動販売機とテーブルがあり、立ったまま休憩できるスペース
	大國魂神社の樹木を眺められるような休憩スペース
	自動販売機を設置した休憩室などが各フロアに欲しい
	厚生室は男女別のもので共有できるようなスペースが両方あると良い
	和室の休憩室も必要
	臨時職員のための休憩所
物販飲食	クーリングスペース(暑い時期に現場から帰庁した際に一時的に体を冷やすことができる部屋)の設置
	タニタ食堂のようなレストランが欲しい(価格と味のバランス)
	眺望を楽しめるようなレストラン
	中途半端なレストランは不要。カフェやコンビニで十分
	1階にコンビニを設置して欲しい(市民、職員とも便利)
	コンビニと協議し、府中特産物(農産物や府中刑務所製のパン)の販売
	福祉カフェの設置
食べ物自動販売機が欲しい	
更衣室・シャワー室	各フロアに更衣室を設置する
	ロッカーをもう少し大きくして欲しい
	市民も使用可能なシャワー室を設置する
その他	トイレの入口の構造は、外から見えないようにする

(2) 女性職員の意見

トイレ	洗面台の数、個室数が不足している
	パウダールーム、歯磨きコーナーが欲しい
	職員だけが使えるような、小物入れがトイレの中に欲しい
	手を洗う際に荷物を置くためには、鏡前の幅20cm程度のスペースでは足りない。荷物を置く十分なスペースや荷物掛けのフックが欲しい
	姿見鏡が欲しい
	ストッキングが破れた際に使える、フィッティングボードを設置して欲しい
	現在の1階の女性用トイレは、出入口から中の様子が見えてしまう
	現在の男性用トイレは、入口のガラス越しに後姿が見えるので不快
更衣室	職場内にコート掛けが欲しい
	更衣室は職場に近い場所に欲しい
	夜行くのが怖い。人感センサー式の照明・非常用のベルが欲しい
	現在のロッカーは幅25cm程度しかなく、狭い
	女子の更衣室内に洗面台があると良い
休憩室	臨時職員と職員の休憩室を分けて欲しい
	各階に男女共用の休憩室、それ以外に1か所男女別の横になれる和室が欲しい
	畳の部屋だけでなく、テーブルと椅子のある部屋が欲しい
	体調を崩した際には「健康管理室」に行っているが、ひどい状況でないと利用しづらい 少し体調が悪い時に気軽に休める場所が欲しい
	職員が昼食を取る場所が少ない(福祉、税務、子育て関係など、窓口対応の多い部署は、市民から見えるので自席では食べる事ができない)
洗面台・手洗いが欲しい	
給湯室	現在は、暗く、衛生面も良くなく、清潔感に欠ける
	職場との行き来に気を遣う
授乳室	現在は、1階の北入口の右側にあり、入口に近いので寒く、鍵がかけられないので安全面にも心配がある。数も不足している
	子育て関係のフロアにあると良い
	全庁的にオムツ替えのスペース、子供用のトイレが無い
	子供用の小さい便器があると良い、2重の便座シート式のものを使いづらい
	適度な広さの個室が欲しい
	ミルク用のお湯が出ると良い(足し湯やすすぎ洗いに使える) ソファの座面は柔らかいほうが良い
その他	現在の売店は位置が悪い
	高層建物となる場合は、1階だけではなく中間階にも自動販売機コーナーが欲しい
	執務室内の作業スペースと会議室は、できれば別に確保して欲しい
	庁舎内に、職員利用のための保育所や市民利用のための一時保育所のようなものがあると良い
	定時以降に残業している際に、人が入ってきて怖いと思うことがある。職場内に不審者通報ブザーがあると良い

1.8. 庁舎機能：議場

市民検討協議会と同様、新庁舎における議場の利用方法について議論を行いました。

施設計画	議場がコンサートホールになるように(中学生の合唱など)
	展望スペースを兼ねた議場及びカフェ
	議場は1階でオープンな場所に
	ガラス張りで市民に身近な議場
施設運用	公式な式典にも、議場としても利用できる大会議室
	傍聴したいと思わせる議会 パブリックビューイングにも使用可能な大画面モニターで議会の中継を行う

1.9. 庁舎機能：セキュリティ

(1) 現在のセキュリティに関して感じていること

市民開放エリアと職員のみ立入り可のエリア	執務室や議会エリアなどに容易に入室できてしまう
文書及び機密情報の管理	窓口カウンターから書類が見える
	職員の電話の音が聞こえる
	キャビネットごとに施錠が必要で面倒
夜間・休日の施錠管理	シャッターや警備員のいない経路で庁舎内へ入れてしまう
	開庁対象外のフロアにも入れてしまう
外部空間	施錠が手動のため、鍵が掛かっていない窓が多い
	駐車場が暗い。人感センサー対応の電灯が必要
その他	現金を執務室で管理している(第2庁舎)
	現金搬送専用の経路が無く、市民動線を通っている
	書庫の入退室記録が手書き帳票のため、記録は利用する職員に委ねられている

(2) 新庁舎に必要なセキュリティ対策とは

市民開放エリアと職員のみ立入り可のエリア	執務室と窓口の境界を明確化(例: 窓口にシャッター設置、境界に簡易セキュリティ設置)
	職員専用出入口を設ける(例: ICカードの利用)
	市民動線と職員動線の区別(例: 現金搬送路の確保)
	サーバー室や現金取扱部署は入退室管理を行う
文書及び機密情報の管理	窓口から職員の机までの距離を確保
	分かりやすく面倒でない文書管理システム
	文書、書類のデータ化
	執務室内に施錠可能な書庫が必要
夜間・休日の施錠管理	窓口のシャッターを設置する
	出入口に近い場所に休日窓口を設置する
	夜間・休日ともに用事のある場所にはアクセス可能だが、その際に手続に必要な情報以外は見せない工夫が必要
	市民が利用するエリアを区分けする
外部空間	防犯カメラの設置
その他	市民交流スペースなどは、警備員の目の届く範囲に配置する

1.10. 庁舎機能：運用

市民検討協議会及び職員検討会が出された意見のうち、「議場の多目的利用」「レストラン・カフェ機能」「夜間・休日開放」「共用部の市民開放・産官学連携など各種イベントの実施」「市民と職員の合同防災訓練」については、現在の庁舎機能と比べると異なった内容となります。新庁舎においてこれらを実現するためには、今後どのような検討が必要となるのかを議論しました。

(1) 議場の多目的利用

利用目的	多目的ホールを議場として使うのか、議場を多目的に使うのか
	平土間形式とすると議会時には設営に手間が掛かる、ひな壇形式にすると利用目的に限られる
	ホール利用であれば、設備や備品に影響が出る
	汎用性の高い設計・設備であること
	職員向けの研修などに利用できるのでは
利用ルール	利用目的に制約を設けるべき
	議会中以外は使用可と思うので、夜間・休日も貸して良い
	利用料の設定
	ICカードなどによる入室制限
	市民と議員の出入口を分ける
	臨時会などの開催に対応できるか。対応できるルールを設けるか。 (突然、市民利用予約をキャンセルさせる)

(2) レストラン・カフェなどの機能

レストラン・カフェ	営業時間の拡大、夜間営業(アルコール提供)
	農家やNPO、給食センターなど、週替わり日替わりで出店
	福祉作業所の製造したパン・クッキーなどを提供
	ICカードなどによる職員割引
	ファストフード店
コンビニ	営業時間以外は会議室として利用
	出入口を内外に設置し、閉庁時でも24時間使えるテナント
	市民用か職員用かという利用のルール
共通	セキュリティ対策
	市民や職員の希望するテナントが入るような選定方式
	特産品販売
	テナント区分による光熱費負担

(3) 夜間・休日開放

施設計画	1階は夜間・休日でも人が通るので、窓口にシャッターが必要
	他課を経由しない動線計画、部署配置
	市民と職員の出入口を別にする
セキュリティ	1階に一時的に休日対応が必要な場合に利用できるスペースを設ける
	デッドスペースとならないように平日は会議室として利用
運用	自治会と連携して巡回
	常時モニターでチェック
	夜間・休日窓口の対象としない課を決める
	対象課には人員増の配慮

(4) 共用部の市民開放・産官学連携など各種イベントの実施

市民開放について	開放エリアは1、2階に集約する
	市民団体への庁舎の開放は必要か。同様の施設があるのでこれ以上増やす必要は無い
委託	シルバー人材センターに巡回などをお願いする
	イベント管理を財団に委託する
その他	駐車場、会議室の有料化

(5) 市民と職員の合同防災訓練

訓練	来庁者に対する避難経路の案内を各職員ができるようにする
	各課でBCP訓練も実施する
	地域ごとではなく市全体で実施する
	時間帯を変えて訓練を実施する(夜間・休日など)
	広報やHPによりイベント性を高め、市民への周知を行う
土日に実施する	
周辺自治体との連携	庁舎周辺自治体に参加してもらい実施する
	周辺自治体との協定
	協定している施設との合同訓練を実施する

2. 優れた新庁舎の実現を目指して

優れた新庁舎の実現を目指し、職員の意見として浮かび上がってきた課題をまとめました。

2.1. 職員の意識

職員の 意識向上	職員の意識改革、ソフト面の改革も必要ではないか
	今回の検討会を通じて、新庁舎を建設する上では、運用面の検討が大切であると感じた。運用に関しては今からでも改善できる。
	優れた新庁舎を目指すためには、市民はもちろんのこと、職員自身が新庁舎を大切に、愛着を持っていかなければならない
	どんなに優れた機能を備え、開かれた職場環境を整備した新庁舎であっても、整理整頓や正しい運用をしなければ、100年使用できる優れた新庁舎にはならない
	市民の方が現庁舎のように書類や段ボールが積み重なった職場を見て来庁しやすく愛着を持つことは難しいと思う。職員一人一人の意識だけでなく、課全体、可能であれば全庁的に定期的な整理整頓などの取組が必要
ワンストップサービスの実現には、いかに職員間で連携をとるかということに尽きる。関連する課を一つの場所に集約したとしても、今と同じように業務を進めているだけでは効果が薄い。 全庁的に意識が高まれば良い	

2.2. 職員の働きやすい職場環境

職員の 働きやすさ	使い勝手の良い庁舎にして欲しい
	業務以外で建物を利用している中で、市民や職員がストレスを感じない庁舎が望ましい
	来庁者が受ける市の印象とは、そこで働く職員の接客対応によるものが大きい
	新庁舎は職員にとって使いやすく、居心地の良い環境であるというのを大事にして欲しい。そうすることで、市民への対応や処理スピードが向上し、職員一人一人の活力が湧いたり、全体が活気付く
町田市役所のように、棚の上などに書類が一切置かれていないすっきりとした執務室を実現するためには、文書の保管ルールの作成や文書の削減が必要。皆が働きやすい庁舎となれば良い	

2.3. 課の意見集約

課の 意見集約	全体を通して各課を代表して出席されていると思うが、それぞれの部課ごとの意見を収集する場がなかった。それぞれの部課で抱える問題や意見を集約する場があればと思う
	この検討会以外でも、それぞれの課ごとの意見を取れるような場を設けて欲しい

2.4. 周辺施設との役割分担

周辺施設との 役割分担	御殿地地区整備でも、レストランやカフェ、ショップを作って欲しいなど、市民検討協議会の意見と類似した意見が出ている。 本庁舎と御殿地地区で設置する機能のすみ分けが必要である。例えば、御殿地地区に作ることができないカフェを本庁舎に計画すれば、双方をつなぐ人の流れができ、機能の連携が取れると考える。
	周辺施設と既存庁舎、新庁舎について、機能や役割分担を念頭に置いて議論を行うことが、今後も必要であるとする。常に意識して検討していけば、結果的に優れた新庁舎に近づけるのではないかと考える。
	市民協働の実現ということで、第一地区駅前再開発ビルとのすみ分けが必要である。市民活動の場所であるならば、本庁舎にある意味として、市民同士だけではなく、市民と職員が情報の交換や交流のできるような施設となれば良い。

2.5. 情報発信・PRコーナー

情報発信	新庁舎は情報発信の場でもある。きれいなロビーができれば、そこにモニターを設置し、市内の天気やPM2.5、放射線量など市民の関心があることについて、それらが市内でどのような数値なのか比較できるような情報を発信する。また、渋滞情報や電車の遅延状況などの情報も発信すれば良いロビーになるのではないかと考える。
	大型モニターを使い、庁舎のロビーから外に向けてイベント告知や納税のお知らせ、FC東京の試合日程など、猝にとらわれないでいろいろな情報を発信する。場合によっては、サントリーの商品をPRすることで広告収入が見込めるのではないかと考える。
	府中は住みやすいと市民に思われている。歴史のある府中ということで、いろいろな企業があり、府中市に対して更なる愛着を持ってもらえるような発信ができる庁舎が良い。
PRコーナー	他自治体で行っているような、市内企業の商品紹介コーナーを設けPRを行う。
	文化振興課としては、市の文化であるお囃子や太鼓などの文化は、府中らしさをPRするものの一つと思う。スペースに限りがあるので難しいかもしれないが、そのような文化を披露できるイベントスペースを設けることにより、多くの市民に触れていただけるような機会の提供が新庁舎でできれば良い。

2.6. 周辺環境との調和

環境配慮	環境に配慮した庁舎にして欲しい
周辺環境	庁舎の建っている場所が良い場所であることを最大限活かした新庁舎になれば良いと考えている。他市と比べ有利な点だと思う。
	交通安全という観点から、建物内部の動線だけでなく、来庁時などの自動車や歩行者の動線にも配慮しないといけないと感じている。第1回の計画の説明時に自動車と歩行者の動線を分けるような形となっていたかと思うが、周辺の交通事情などに配慮しながら安全でスムーズな出入りができる仕組みを考えなければならない。

2.7. その他

スペースの有効活用	年間を通して研修があるので研修室があると良い
	現在の市民談話室は、選挙や臨時窓口として使用している。そのような状況に応じて使い分けられる空間があると良い。
	セキュリティをしっかりと確保することは前提だが、庁舎機能の中で夜間・休日に活用されていないものを活用し歳入に変えてはどうか。今の駐車場や食堂、会議室など、駅から近く便利な場所であるため、そのような活用ができれば良いと考えている。
	市民税課としては、ある程度開かれたスペースは必要だが、セキュリティという面で相反する部分がある。両立できている空間であれば、対市民という点では良いと思う。
外観	外から見た点として、あの庁舎カッコいい建物だねと話題になるような建物になれば良い。
	個性を表現ができれば良い。建物の外観やエントランスホールなど、府中ならではのデザイン性、例えば、緑が多いとか隣に大國魂神社があるので、それとのバランスや調和を考えるなど、府中のシンボルとなるような庁舎になり、今まで用事がなく来なかった人も興味を持って来るようになると良い。
維持管理 将来性	なるべく維持管理経費が掛からないようにして欲しい。先端技術にも目を向け、新しいものを取り入れていければ良いのではないか。
	長い目で見るといろいろな制度改正に伴う組織改正がある。レイアウト変更が自由にできる庁舎が望ましい。

参考資料

資料 1 府中市庁舎建設基本計画職員検討会による検討経緯

資料 2 府中市庁舎建設基本計画職員検討会委員

資料 1 職員検討会による検討経緯

回	開催日	場所	主な内容
第 1 回	平成 25 年 7 月 25 日 (木) 午前 9 時から	北庁舎 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ○庁舎建設に係る経緯等について ○プロポーザル提案の説明 ○今後の進め方の説明
第 2 回	平成 25 年 8 月 22 日 (木) 午後 2 時から	北庁舎 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ○市民サービス施設としての、各地の特色ある事例紹介 ○グループディスカッション <p>府中の個性が光る新庁舎を実現するために ～日常的に人が集まり利用される施設とするには～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内で行われている行事で、新庁舎において積極的に行うと良いと思うもの ・各部署において、現在実施しているものや今後必要だと思う「市民活動」「市民協働」について
第 3 回	平成 25 年 9 月 5 日 (木) 午後 2 時から	北庁舎 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザイン、防災拠点としての取組について事例紹介 ○市民検討協議会で出た意見の紹介 ○グループディスカッション <p>市民協働の実現には、ソフトとハードの取組が必要：市民検討協議会で出た意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民と行政との関係をより良くするための庁舎の役割について <p>人の集まる市の中心的な施設へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての人にとって安全で使いやすい施設とは（ユニバーサルデザイン） <p>防災拠点としての市庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の際に職員目線で感じたこと

第4回	平成25年9月26日(木) 午後2時から	北庁舎 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ○受付・窓口業務の形態、相談窓口、待合いについての事例紹介 ○グループディスカッション <p><u>ふちゅうモデルの窓口を実現</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の窓口形態における課題、改善すべき点 ・手続が分かりやすい窓口にするために必要なこと
第5回	平成25年10月17日(木) 午後2時から	西庁舎 委員会室	<ul style="list-style-type: none"> ○最新オフィス空間の事例紹介 ○福利厚生施設の事例紹介 ○グループディスカッション <p><u>執務環境の向上により、市民サービス向上へ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の執務環境で感じていること ・課相互のコミュニケーションを促進するためには、どのような取組が必要か ・職員の福利厚生施設における現状の課題と新庁舎での要望について
第6回	平成25年11月14日(木) 午後2時から	西庁舎 委員会室	<ul style="list-style-type: none"> ○庁舎におけるセキュリティについて <ul style="list-style-type: none"> ・市民が利用するエリアと関係者だけが利用可能なエリアの区分け ・文書及び情報管理 ・夜間・休日の施錠管理 ・外部空間の夜間管理 ○グループディスカッション <p><u>市民に開かれた庁舎とするために</u></p> <p>～セキュリティ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のセキュリティに関して感じること ・新庁舎に必要なセキュリティ対策とは
第7回	平成25年12月5日(木) 午後2時から	ふるさと 府中 歴史館	<ul style="list-style-type: none"> ○運用について、市民検討協議会と職員検討会で出された意見について紹介 ○情報発信について、事例紹介 ○グループディスカッション <p><u>新しい施設を使いこなす</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎を有効に運用するためには ・優れた新庁舎を目指して
第8回	平成25年12月19日(木) 午後2時から	ふるさと 府中 歴史館	○まとめ

資料2 府中市庁舎建設基本計画職員検討会委員

氏名	所属
舟山 祐一郎	政策総務部財政課
江口 善子	政策総務部広報課
平澤 佐一郎	政策総務部総務管理課
元田 佳奈子	政策総務部職員課
大川 享	行政管理部財産活用課
南 學 進	行政管理部建築施設課
神谷 正志	行政管理部情報システム課
福田 博行	行政管理部防災危機管理課
鈴木 雄介	市民部総合窓口課
田口 敦	市民部保険年金課
小笠原 雄作	市民部市民税課
能渡 靖	市民部資産税課
新藤 和博	市民部納税課
大木 忠厚	生活環境部経済観光課
宗村 将之	生活環境部環境政策課
山本 浩気	生活環境部地域安全対策課
新妻 恵	市民協働推進本部市民活動支援課
秦 裕大	文化スポーツ部文化振興課
小林 健司	文化スポーツ部ふるさと文化財課
橋本 健太	文化スポーツ部生涯学習スポーツ課
関口 一扇	福祉保健部地域福祉推進課
土田 宏	福祉保健部生活援護課
鈴木 梓平	福祉保健部高齢者支援課
望月 ゆき恵	福祉保健部障害者福祉課
平澤 章子	子ども家庭部子育て支援課
塚本 淳	子ども家庭部保育課
江上 哲之	都市整備部管理課
須藤 和佳	都市整備部計画課
鈴木 めぐみ	都市整備部土木課
小川 侑太	都市整備部建築指導課

秋 山 なつみ	出納課
宗 村 智 子	教育部総務課
鈴 木 幸之助	選挙管理委員会事務局
齋 藤 雅 裕	監査事務局
扇 山 慎 市	議会事務局

(敬称略・順不同)